

19: GVHD 予防法と GVHD

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 豊嶋 崇徳	北海道大学病院	血液内科
杉田 純一	北海道大学病院	血液内科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
足立 壮一	京都大学医学研究科	人間健康科学系専攻
池亀 和博	兵庫医科大学病院	血液内科
磯山 恵一	昭和大学藤が丘病院	小児科
稲本 賢弘	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
内田 直之	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
宇都宮 與	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
大島 久美	広島大学原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター	血液・腫瘍内科研究分野
垣花 和彦	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
加藤 剛二	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
諫田 淳也	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
酒井 リカ	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
瀬尾 幸子	国立がん研究センター東病院	血液腫瘍科
高木 伸介	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
田中 淳司	東京女子医科大学病院	血液内科
寺倉 精太郎	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
東梅 友美	ミシガン大学	
仲宗根 秀樹	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
永田 泰之	浜松医科大学	血液内科
中根 孝彦	大阪市立大学医学部附属病院	血液内科・造血細胞移植科
西脇 聡史	名古屋大学医学部附属病院	先端医療・臨床研究支援センター
福田 隆浩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
古川 達雄	長岡赤十字病院	血液内科
村田 誠	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
森島 泰雄	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
森 毅彦	慶應義塾大学医学部	血液内科
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
横山 洋紀	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
綿本 浩一	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
今橋 伸彦	The University of Texas MD Anderson Cancer Center	Stem Cell Transplantation & Cellular Therapy
梅田 雄嗣	京都大学大学院医学研究科	発達小児科学

小林 真一	防衛医科大学校病院	血液内科
近藤 忠一	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
高松 博幸	金沢大学医薬保健研究域医学系細胞移植学	血液内科
西田 徹也	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
伊藤 歩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
西森 久和	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
大中 貴史	小倉記念病院	血液内科
後藤 守孝	東京医科大学病院	血液内科
森下 剛久	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
吉永 健太郎	東京女子医科大学病院	血液内科
松岡 賢市	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
式 郁恵	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
豊崎 誠子	東海大学医学部内科学系	血液腫瘍内科
福島 健太郎	地方独立行政法人 りんくう総合医療センター	血液内科
新井 康之	米国国立衛生研究所 (National Institutes of Health)	
大屋敷 一馬	東京医科大学病院	血液内科
大和田 千桂子	千葉大学医学部附属病院	血液内科
芹澤 憲太郎	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
斎藤 雄弥	東京都立小児総合医療センター	血液・腫瘍科
岸本 健治	兵庫県立こども病院	小児がん医療センター血液腫瘍内科
西川 英里	名古屋大学医学部附属病院	小児科
本橋 賢治	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
下村 良充	地方独立行政法人神戸市民病院機構神戸市立医療センター中央市民病院	血液内科

2. 承認研究の進捗状況(2016年1月-12月 ※JSHCT2017を含む)

19-1	「シクロスポリンおよびタクロリムスによるGVHD予防法の比較検討」 PI:酒井リカ
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG研究業績一覧参照)	
19-2	「血液悪性腫瘍に対する同種造血細胞移植における抗リンパ球グロブリンの臨床的検討」 PI:加藤剛二
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:	
19-3	「前処置別の急性GVHDのリスク因子解析」 PI:仲宗根秀樹
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG研究業績一覧参照)	
19-5	「既存データを用いた年齢別の急性GVHD発症後の予後の検討」 PI:中根孝彦
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG研究業績一覧参照)	
19-6	「急性GVHDに対するステロイド一次治療の成績」 PI:村田誠
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG研究業績一覧参照)	
19-7	「GVHDとTMAの関連性の検討」 PI:吾郷浩厚
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:	
19-8	「既存データを用いた臓器別慢性GVHDの発症様式、発症頻度、予後の解析」 PI:諫田淳也

学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)		論文業績: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
19-9	「一元化管理事業データに基づく造血幹細胞移植後の閉塞性細気管支炎の解析」 PI: 仲宗根秀樹		
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)		論文業績: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
19-10	「GVHD と GVL 効果に対するドナーとレシピエントの性別の影響」 PI: 大島久美		
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)		論文業績:	
19-11	「臍帯血移植における GVHD 発症と GVL 効果の相関に関する研究」 PI: 諫田淳也		
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)		論文業績: Kanda J, Morishima Y, Terakura S, Wake A, Uchida N, Takahashi S, Ono Y, Onishi Y, Kanamori H, Aotsuka N, Ozawa Y, Ogawa H, Sakura T, Ohashi K, Ichinohe T, Kato K, Atsuta Y, Teshima T, Murata M. Impact of graft-versus-host disease on outcomes after unrelated cord blood transplantation. Leukemia. 2016 Nov 4. doi: 10.1038/leu.2016.288. [Epub ahead of print]	
19-19	「小児急性骨髄性白血病同種移植症例におけるシクロスポリン持続点滴法と分割静注法の有効性と安全性の比較検討」 PI: 梅田雄嗣		
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)		論文業績: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
19-21	「ステロイド抵抗性急性 GVHD に対する ATG 治療の成績」 PI: 村田誠		
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)		論文業績: Murata M, Ikegame K, Morishita Y, Ogawa H, Kaida K, Nakamae H, Ikeda T, Nishida T, Inoue M, Eto T, Kubo K, Sakura T, Mori T, Uchida N, Ashida T, Matsuhashi Y, Miyazaki Y, Ichinohe T, Atsuta Y, Teshima T. Low-dose thymoglobulin as second-line treatment for steroid-resistant acute GvHD: an analysis of the JSHCT. Bone Marrow Transplant. 2016 Nov 21. doi: 10.1038/bmt.2016.247. [Epub ahead of print] PubMed PMID: 27869808.	
19-22	「同種臍帯血移植における至適免疫抑制療法に関する後方視的検討」 PI: 寺倉精太郎		
学会発表: 2016 年 第 78 回 日本血液学会 口演発表 筆頭演者		『An exploratory research for the GVHD prophylaxis after conventional CBT for adult leukemia』	
論文業績: Terakura S, Wake A, Inamoto Y, Murata M, Sakai R, Yamaguchi T, Takahashi S, Uchida N, Onishi Y, Ohashi K, Ozawa Y, Kanamori H, Yamaguchi H, Fukuda T, Ichinohe T, Takanashi M, Atsuta Y, Teshima T. Exploratory research for optimal GvHD prophylaxis after single unit CBT in adults: short-term methotrexate reduced the incidence of severe GvHD more than mycophenolate mofetil. Bone Marrow Transplant. 2016 Dec 12. doi: 10.1038/bmt.2016.255. [Epub ahead of print]			
19-23	「血液悪性腫瘍患者における初回同種造血幹細胞移植後の II 度以上急性 GVHD 発症時期別リスク因子と予後に関する研究」 PI: 後藤守孝		
学会発表:		論文業績:	
19-24	「肝臓急性 GVHD 発症リスクの解析」 PI: 新井康之		
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)		論文業績: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
19-26	「同系造血幹細胞移植後の GVHD」 PI: 西田徹也		
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)		論文業績:	
19-27	「GVHD 予防試験に適した複合エンドポイントの検討」 PI: 稲本賢弘		

<p>学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績: Inamoto Y, Kimura F, Kanda J, Sugita J, Ikegame K, Nakasone H, Nannya Y, Uchida N, Fukuda T, Yoshioka K, Ozawa Y, Kawano I, Atsuta Y, Kato K, Ichinohe T, Inoue M, Teshima T.</p> <p>Comparison of graft-versus-host disease-free, relapse-free survival according to a variety of graft sources: antithymocyte globulin and single cord blood provide favorable outcomes in some subgroups. Haematologica. 2016;101(12):1592-1602.</p>	
19-28	<p>「再生不良性貧血に対する非血縁者間同種骨髄移植における、ドナー年齢と GVHD 合併の相関」</p> <p>PI: 新井康之</p>
<p>学会発表:</p> <p>論文業績: Arai Y, Kondo T, Yamazaki H, Takenaka K, Sugita J, Kobayashi T, Ozawa Y, Uchida N, Iwato K, Kobayashi N, Takahashi Y, Ishiyama K, Fukuda T, Ichinohe T, Atsuta Y, Mori T, Teshima T. Allogeneic unrelated bone marrow transplantation from older donors results in worse prognosis in recipients with aplastic anemia. Haematologica. 2016;101(5):644-52.</p>	
19-31	<p>「減量前治療を用いた同種臍帯血移植における至適免疫抑制療法に関する後方視的検討」</p> <p>PI: 寺倉精太郎</p>
<p>学会発表:</p> <p>論文業績: 投稿中</p>	
19-32	<p>「小児臍帯血移植における GVHD 発症と移植成績」 PI: 諫田淳也</p>
<p>学会発表:</p> <p>論文業績:</p>	

3. 会議開催記録 (2016 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2016 年 1 月 10 日	国立がん研究センター中央病院	承認研究進捗状況の確認および今後の方針についての検討
2016 年 7 月 9 日	名古屋第一赤十字病院	承認研究進捗状況の確認および今後の方針についての検討

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2016 年 12 月末時点まで)

(1099) 回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

当 WG の各研究課題は精力的に進められており、国際学会・国内学会への発表はもちろん論文文化についても順調に進行中である。今後も現在進行中の承認研究を着実に進行させるとともに、積極的に新規研究を立案していくことを目標とする。